



9月6日～9日 第7回 SOE 沖縄エ コツアーに行ってきました ました！

「自分の考え方やものの見方が変わったような気がする。」

「人間は登山をするにしろ海水浴をするにしろ自然にお邪魔しているという意識を忘れてはいけないと感じた」

「大きな自然を前にすると、もっと成長しなきゃな！と気持ち新たになる。」

「自然の雄大さに圧倒された。しかし、圧倒されただけでなく、自然から見えないパワーをもらったことは確実だ。」

「自然に感謝し、自然と自分がどう付き合っていくか考えていきたい。」



今年は、大災害もあって規模を縮小して実施しました。その結果、参加者のマンパワーは全開。一人ひとりが大自然の中で、現地の方々の温かいおもてなしと出会いの中で、自分の姿を見つめ、自然と自分の関係について洞察を深めたツアーとなりました。以下、参加者のふりかえりの一部です。

1日目「初めて出会う人々とのツアー 1日目は、以前来た沖縄とは違う姿を見ることができそうで、また今まで考えたことのない環境のことについて話し合う機会も得られ、楽しみになった。私は友人に行こうよ！と誘われたのがそもそものきっかけでツアーに参加したのだが、自分から思い切って行動してこなかったため、自分を変えなければと焦っていた。場所を変えたからといって何かが変わるわけでもないけれど、様々な人々との出会いを大切に4日間を過ごしていきたい。」(日本女子大 今井 志保)

2日目「午前中にゴミ拾いをしました。海のそばよりも近所の道などへの不法なゴミが目立っている気がしました。また、ペットボトルや空き缶などの海を利用した人たちのゴミも道に投げ捨てられていました。きれいな風景を守っていくことの重要性を考えました。



午後、シュノーケリングでは、海の生き物をたくさん見ることができました。こんなにきれいな海に入るのは初めてだったので、魚たちやサンゴをじっくり見させていただきました。けれど海の中のゴミも気になってしまい、残念でした。少しずつでも減らしていくことができたら良いと思いました。」(日本女子大 大里 恵)

「朝早くから集合し、ゴミ拾い。とても美しく清んだ沖縄の海のすぐ側にたばこのフィルターやペットボトル、更には車の

のタイヤ等多くのゴミが出てきて、こんなにきれいな海と見てよくゴミを捨てられる人がいるのもだと悲しい思いがした。タイヤの中からは住みついていたカニが出てきたりと、自然の生物が人工物に生きていく、といった姿も見られたけれど、やはり人間は登山をするにしろ海水浴をするにしろ自然にお邪魔しているという意識を忘れてはいけないと感じた。」「料理教室では地元の方に教えて頂きつつ沖縄料理を食すことができ、ためになったし楽しかった。総じて感じたことではあるけれど、沖縄の方は本当に親切で笑顔が素敵な方が多いように思う。人とのつながりを大切に、困っていると「どうしたのー?」と声をかけてくれるような関係は関東にはあまり見られなくなっているため、気遣い、おせっかいとやいてくれる人々が心地よかった。」(日本女子大 今井 志保)

「ゴミ拾いでは、車のタイヤなどがとても多かった。バーベキューで飲んだと思われる空き缶や金網まであった。これらのゴミを平気で捨てていることに、驚かされた。料理教室では、みんなの日ごろの料理の腕が垣間見れた。地元の方に教えていただきながら作った料理はとてもおいしかった。夕食は残ったもので食べようということになり、メンバーのみんなで残ったものを使いチャーハンを作った。みんなのアイディアは素晴らしいと思った。午後からのシュノーケリングでは、海の中にあるゴミがすごく気になった。1年生のときに行った時より増えているように感じた。

普段何気なく買っている缶やペットボトルが海などの自然にとっても影響を与えていると改めて思った。ただゴミ拾いをするだけでなく、ポイ捨てをしない、缶やペットボトルを買わないようにするという、人間の意識改革が必要だとおもった。」(日本女子大 池田 朱里)

3日目「私は泳ぐことが苦手でしたが、海を数十メートル程度、泳ぐことができ、非常に達成感を得た。海の生物をじっくり観察でき、おだやかに時間が過ぎる沖縄の魅力だと思った。ナマコが大きくびっくりした。また、小さいカニや魚がチョコチョコと動き可愛らしかった。また、海水が透明で、水草のグリーンが大変美しかった。

海から上がり、車で羽地に移動し、カヌーをする。カヌーを体験し、海の広さ、島の壮大さを感じた。また沖縄の神様は自然。そのことを肌で感じた。非常に暑かったが、潮風を感じながら漕ぎ涼しかった。沖縄の神様に会いに行き、沖縄の文化を拝見した。風葬という遺体を自然に帰すことは、生前沖縄の大きな自然の中で生き、死後も沖縄の自然と共に生きる、という



(八重岳センター) はとても優しく親切で、温かく歓迎してくれました。山の中での作業や自然のこと、ご飯についてなどたくさんのお話を聞くことができとても良い経験になりました。

沖縄について無知のままエコツアーに参加しましたが、地元の人々や自然に触れながらたくさんを学びました。旅の仲間や出会った人々との触れ合いの中で、自分の考え方やものの見方が変わったような気がします。」

(日本女子大 大里 恵)

「八重岳でいただいたお食事は本当においしくて、こんなご飯を毎日食べられたら幸せだろうなあと思えばかり考えていました。また、えみ子さんご夫妻(八重岳センター)は家庭内暴力で傷ついた女性を受け入れたりもなさっていると知広さんからお聞きしていたので、児童相談所で働いている身としては、ご夫妻をはじめ皆様のお人柄に感化され自らが子どもたちと接している姿勢を見つめ返すきっかけにもなりました。

さらに私は将来的にパン屋かレストランを開きたいと結構本気で企んでいるので、色々参考にもなりました。全粒粉のパンというのもぜひいただけてみたいところです。

同窓会も楽しみにしております。こうやってツアー後にも交流の機会を設けていただけなのは本当に嬉しいことですね。めぐちゃん(同行した友人)とはサークルで会ったりしていますが、以前より深いところで仲良くなった気がしています。」(日本女子大 今井 志保)

「自然の雄大さに圧倒された。しかし、圧倒されただけでなく、自然から見えないパワーをもらったことは確実だ。見えないパワーだからこそ、環境を汚染したり、木々を伐採してしまうのかもしれない。もっとも、人間は自然と共存しなければ、精神的にも生きていけないのだ。これを機に、自然に感謝し、自然と自分がどう付き合っていくか考えていきたい。」(日本女子大 本山 恵)

「最終日となり、沖縄の水族館代表・美ら海水族館や国際通り等観光スポットにも行ったが、やはり中でも印象にのこっているのは八重岳で出会った人々だ。予定にはなかった八重岳への訪問は、人は自然のなかで支え合って生きていけるものなのだ実感できる時間になった。突

自然と切っても切れない絆を感じることができた。このように、残っていることは素晴らしく、残しておきたい文化財のように感じる。史学科に在籍しているため、沖縄独特の埋葬の仕方・お墓の様式に非常に興味を持った。」(日本女子大 本山 恵)

4日目「午前中は美ら海水族館や海洋公園に散歩に行きました。ジンベイザメやウミガメなど、なかなか観ることができない生き物をみられてよかったです。八重岳では沖縄の山の自然をたくさん観ることができました。ミセス先生



然の訪問にも関わらず体に優しくておいしいごちそうを出して下さったり、八重岳での生活を快く話して下さったりして、初対面の人間に対して気持ちよく接してくれる人柄は沖縄に暮らす人の特徴なのかなとしみじみ感じた。

今回のエコツアーは、メンバーのみならず現地の方々も含めつくづく出会いに恵まれていて、多くの刺激を受けることができた。」(日本女子大 今井 志保)



地球教室「かんきょう1日学校」にボランティア指導者として参加しました

2011年9月23日(金・祝)、東京都有楽町朝日ホールにて、朝日新聞が主催し、地球の未来について考える地球環境プロジェクト「かんきょう1日学校」が開催されました。80組の小学生・保護者が参加。子どもたちは、午前中に企業の環境への取り組みについて

お話を聞き、午後はセヴァン・スズキさんのリオサミットでのスピーチを聞いて、未来の自分へのメッセージを考える、という活動をしました。グループで「こんな未来になってほしい」「今不安に思っていること」「大人にやってほしいこと」「自分の役割」についてアイデアを出し合いました。当時のセヴァン・スズキと同年齢くらいの子どもたちは、「今後CO2がふえることが心配」、「森や生き物を守ってほしい」「人々がみんなやさしい気持ちになってほしい」など短い時間で様々な意見を一生懸命考えてくれました。「未来の自分へのメッセージって、タイムカプセルみたいなこと?どんなこと書けばいいの?」と始めはみんな迷っていました。「10年後、20年後になると、自分が考えていたことって忘れてしまうかもしれないよね。今日、地球で今起こっていることのお話を聞いて、不安に思ったこと・こうなってほしいと思ったことを記録して未来の自分に思い出させてあげよう。」と伝え、メッセージを書いてもらいました。

今回の子どもたちは今までの時間に出したアイデアを使ってメッセージをまとめ、大勢の保護者の前で堂々と発表していたので、とても立派でした。

(SOE 杉山 佑里子)

◎会員募集中◎

センス・オブ・アースの活動を知りたい方、入会をお考えの方へご案内のパンフレットを用意しています。ご希望の方は下記までご連絡下さい。

発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6052
e-mail: info@npo-soe.jp url: www.npo-soe.jp